◆企 画 名：Welcome to peer 2025
日　　程：2025 年 6 月 28 日（土）14：40 ～ 17：00
場　　所：関西大学 千里山キャンパス 第 1 学舎 5 号館 2 階 E201 教室
参加者数：16 名（うち、ピア・サポータ 10 名、研修生 6 名）

目　　的

・ピア・コミュニティについての理解を深めること
・ピア・コミュニティの学生同士の親睦を深め、コミュニケーションも円滑化を図ること

内　　容

・開会式（15:00～15:05）
学生挨拶、全体概要説明

・アイスブレイク：1 字取りゲーム（15:05～15:20）
【ルール】
まず、5 人 1 チームとなる。5 人のフルネームの中から文字を組み合わせ、グループで話し合いながら 10 分間で「言葉」をどんどん出していく。作れた言葉の数を競い合い、言葉の数が多いチームが勝ち。

15:05～15:08　ルール説明
15:08～15:17　アイスブレイク
15:17～15:20　全体共有（優勝チームに拍手）

・交流会①（15:20～15:30）／心理テスト（10 分）
運営本部で 4 択の心理テストを出題し、グループで話してもらう。
（同じ回答の人が分かり、共通点になるため）

【心理テストの内容】
・何か新しい習い事をするなら、次のうちどれ？
A.ダンス B.料理 C.ヨガ D.陶芸
・あなたは突然、無人島に一人で行くことになりました。一つだけ持っていくとしたら何を選びますか？
A.本 B.ナイフ C.キャンディ D.日記
・部屋に飾っていたが、急に要らなくなったぬいぐるみ。さて、どうする?
A.人にあげる B.ゴミとして出す C.フリーマーケットで売る D.燃やす
・次の中から一番好きな絵はどれですか？
(4 つ絵をスライドに出した)

・交流会②（15:30～16:20）／移動 5 分・フリートーク 45 分（1 回 15 分×3 回）
交流回②では当初 2 回行う予定だったが、時間が想定していたよりも早まったことで 3 回行った。時間は 1 回 15 分で、1 回目は本イベントの最初に座ってもらった席で学年が近くなるようにし、2 回目は学年ができる限り異なるようにした。3 回目は即席で話が盛り上がりそうな人で行った。いずれも 3 人か 4 人で一つのチームとなってフリートークを行った。

【話題カードの内容】
・趣味
・今までで旅行でいちばん楽しかったところ
・好きな動物
・今までで忘れられない思い出
・人生最大のやらかし
・好きなアーティストや芸能人
・大学で受けた講義で 1 番面白かった講義

・今１番欲しいもの(お金以外)
・最近した１番でかい買い物
・今まで食べたもので１番美味しかったもの

・閉会式
16:20～16:30
学生挨拶、写真撮影、アンケート

【準備物】
・名札（所属、名前、学部）
・1字取りゲームで使う紙
・心理テストのスライド
・交流会 話題カード

効　　果

・交流をメインにしたことで、今まであまり話したことになかった人と話すことができた。
・班分けでコミュニティが異なるようにしたことで、他コミュニティとの貴重な交流の場になった。
・アイスブレイクについて、前で例を挙げて説明したことで、複雑だったアイスブレイクのルールを分かってもらうことができ、スムーズに行えた。
・心理テストの時に皆の雰囲気を見ながら行うことで、タイミングを見計らいながら進めることができた。
・時間が早まってしまったところにフリートークの回数を増やすという、臨機応変に動いたことで間延びすることなく行えた。

改 善 点

【当日までの改善点】
・完成した計画書を出すのが実施の三日前だった。
→最初にタスク出しと役割分担をして提出の遅れを防ぐ。
・当日の役割で不明瞭な部分があった。
→動きと役割分担、セリフを一つの表にして流れを明確にしておく。
・スケジュール管理が上手くいかなかった。
→事業計画書に誰が何担当かを書き、各タスクの締め切りも示すべきだった。
・心理テストを提示して考えてもらうだけで終わった。
→各質問の回答を提示した後に、答えの共有を促す時間があるとお互いのことをより知ることができ、フリートークでの話しやすい雰囲気や話題としてつなげることができたと考えられるため、次の展開まで想定して計画をすべきだった。
・フリートークの際、メンバーや人数によっては話題がつき気まずくなる瞬間が見受けられた。
→テーブルを移動するとまた同じ話題カードで話さなければならないというケースがあったため、話題カードがテーブルごとに異なると良かった。
・アンケートの QR コードが正しいものではなかった。
→事前の準備で確認しておく。
・司会がスマホの原稿を見ながら説明していた。
→せめて紙の原稿を用意しておく。
【当日の改善点】
・当日の流れをそれぞれが把握していなかった。受付、席への誘導がスムーズではなかった。
→本番通りのリハーサルを実施し、皆で確認し合う時間を取る。
・フリートークのグループ分けの意図を知ってもらえていなかった。
→フリートークを始める前にグループ分けの意図を説明すべきだった。
・説明する際に、「～はず」という話し方になっていた。

→事前に運営本部内で共有し、自信を持って話せるようにする。
・司会が固すぎる印象だった。
→目的に合わせてもう少し砕けた雰囲気にするなど工夫が必要だった。

感　　想

アイスブレイクは、今回のイベントの主旨に合っており、初対面でも打ち解けやすい雰囲気だった。今回のアイスブレイクの１字取りゲームは、自分たちで作ったものだったため、ルールに不備がないか、ルールを分かってもらえるのかとても不安だったが、しっかりと伝わっていたため嬉しかった。心理テストやフリートークを通して、異なるコミュニティや学部の人と関わり、親睦を深めることができて良かった。昨年と同じように話題カードを作り、班に分けて行ったことで、普段話したことがない人とも話しやすかった。複数回のグループ変更で多くの人と関わることができ、全体的に楽しく有意義な時間だった。